



2017・10・1

第 285 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

草の根での宣伝・対話と 3000 万署名結びつけ

臨時国会での討議避け冒頭解散

安倍首相は9月28日召集の臨時国会冒頭に国会を解散、10月総選挙に打って出る暴挙を強行しました。安倍首相はこの記者会見では憲法9条にはふれませんでした。同日夜のNHK番組では、「北朝鮮がこういう状況の中であって、最前線で頑張っている自衛隊員のみなさんがいる。選挙公約の書き方は自民党のなかで議論していくが、基本的には、自衛隊の存在を明記することに向けて議論がすすんでいく」とこれまでの方針に変更がないことを強調しました。

萩生田光一自民党幹事長代行も、24日のNHK番組で、「年内に党内の意見まとめ、来年の通常国会をめざす方針に変わりはない」と明言しています。

小池新党も改憲賛成で自民党を補完

小池都知事が27日に発足させた「希望の党」は、民進党からの入党希望者の条件に「憲法改正に賛同」をもちこんでおり、改憲問題で自民党の補完勢力となる姿勢を明らかにしています。細野豪志衆院議員は、「自民党の中で9条の議論のみが先行して

安倍9条改憲をとめよう！ 全国交流・討論集会のご案内

安倍首相は28日の臨時国会冒頭の解散総選挙に打って出ました。憲法9条をめぐる戦後もっとも重大な岐路にあたって、九条の会はどのように行動すべきか。おおいに交流し討論したいと思います。積極的にご参加ください。

参加される方は、事務局に登録をお願いします。

◇日時 10月8日(日)

午後1時00分～4時30分

◇特別報告 「9条加憲のねらいと問題点」 一橋大名誉教授 山内敏弘

◇参加費 1000円

◇会場 東京文京区・文京区民センター
九条の会 事務局

おります。われわれはその議論からも逃げません」と自民党の改憲論議に積極的に応じていく姿勢を明らかにしています。

駅前集会に4野党あいさつ

【奈良県橿原市／橿原市9条の会】 橿原市9条の会は10月18日、「安倍改憲反

対！立憲主義回復！安非法制（戦争法）・共謀罪法廃止 9・18 近鉄大和駅前集会を市内で開催し、4野党関係者を含め約50人が参加しました。

水谷和宏同会世話人代表が、自衛隊の南スーダン派兵や共謀罪法の強行採決など戦争する国づくりに奔走してきた安倍政権を批判。憲法破壊の安倍政権を許さない、草の根からの運動を大きく盛り上げるため、私たち9条の会も活発に行動していきたい」と主催者を代表してあいさつしました。

奈良県下の4野党を代表して、民進党の前川清成衆院奈良2区候補、日本共産党の所すすむ衆院奈良3区候補、社民党奈良県連の樹杉和彦代表、新社会党の稲葉耕一委員長が連帯のあいさつ。安倍政権打倒を訴えました。

八木・今井9条の会の梶原徳子世話人が集会決議文を読み上げ、「団紹がんばろう」と参加者全員で声をあげました。集会後橿原市役所まで、デモ行進しました。

野党共闘実現への的行動を提起

【福島県／福島県九条の会】 憲法施行から70周年を記念して福島県九条の会が白河市で24日、伊藤塾塾長の弁護士、伊藤真氏を講師に迎え講演会を開きました。1100席の会場の白河文化交流館「コミネス」大ホールをぎっしり埋め共感の大きな拍手がわきました。

伊藤氏は、「憲法とは、国家権力を制限し、国民の権利・自由を守る法だ。さらに戦争放棄も目的としたに日本の立憲主義の特長がある」と指摘。「現憲法の理想に現実を近づけることこそ必要であり、市民として主

体的に行動することだ」と述べ、安倍内閣の9条改憲などに「しっかりノーを突きつけていきたい」と結びました。

最後に県九条の会の真木實彦事務局長は、総選挙での野党共闘実現への積極的行動などを提起し、参加者は大きな拍手でこたえました。

地元から参加した鈴木豊子さん（63）は連れの女性とともに「分かりやすく楽しい講演だった。元気も出た」と話しました。

3000万に見合う京都の目標設定

【京都府／安倍9条改憲NO！全国市民アクション・京都】 「安倍9条改憲NO！全国市民アクション・京都」（略称「アクション・京都」）が25日、京都市内で結成のつどいをおこない、156人が参加。「全国3000万署名」の京都での目標を60万とすることなどを確認しました。

結成にあたっては、毎月19日に京都市役所前での行動を主催してきた「安非法制（戦争法）の廃止をめざす市民アクション@きょうと」「戦争をさせない1000人委員会京都連絡会」「平和憲法を守り生かす京都共同センター」の3団体と、「憲法9条京都の会」が相談会をよびかけ、とりくみの具体化などをすすめてきました。

つどいでは、各団体の代表者らがあいさつ。「学者の会」の高山佳奈子京都大学教授は、「憲法全体が平和主義の内容で組み立てられており、9条だけ変えると意味不明な憲法になる。モナリザの顔にヒトラーのチョビひげを書き入れるようなもの」と安倍改憲を痛烈に批判。憲法共同センターの梶川憲代表は、「全国3000万署名は経験した

ことのない目標。戦争法反対署名は京都で50万弱集まった。それを上回る運動に取り組みたい」と力を込めました。

市民と野党の共同は崩さない

【高知県／高知憲法アクション】 高知憲法アクションは28日昼、県庁前で宣伝、野党4党の代表など約50人が参加しました。

呼びかけ人の田口明光氏は「大義なき党利党略解散だ。希望の党は親自民党で未来は託せない。急な解散や新党の結成にも市民と野党の共同は崩されない」と表明しました。

日本共産党の松本けんじ衆院こうち1区候補は「野党共同を総選挙でも発展させ、憲法破壊の政治をつくらせない」と力説。民進党県連の武内則男代表代行は「総選挙で安倍政権退陣のうねりをつくろうとの憲法アクションと力を合わせ総選挙をたたかう」と強調しました。

社民党県連の久保耕次郎代表は「野党の共同政治を国民の手に取り戻す」とのべ、新社会党県本部の小由来八委員長は「野党共同のたたかいで野党の議席をかちとろう」と呼びかけました。

通りかかった石原妙子さん（80）は「医療を切り捨て、年金を減らす年寄りいじめの政治を変えてほしい」と話しました。

安保法制違憲訴訟の意義を確認

【静岡県／湯河原・真鶴・泉の会】 「安保法制（戦争法）廃止、憲法を生かし町民・市民の暮らしを豊かにする湯河原・真鶴・泉の会」は17日、神奈川県湯河原町で、「安保法制違憲訴訟の会」共同代表の伊藤真弁

護士を招いた講演会「なぜ今9条改憲？この国のゆくえ」を開きました。湯河原、真鶴両町や熱海市泉地区などから、雨の中150人が参加しました。

伊藤氏は、安保法制違憲訴訟の意義を紹介。憲法を守るたたかいについて「国民は国に憲法を守らせる責任がある。安倍政権が個人と国家の関係を戦前に戻すことを狙うなか、日本をどんな国にしたいのか、私たちが覚悟を決めて、慌てず、焦らず、あきらめず、一步一步前へ進むことが必要だ」と訴えました。

国民は安倍首相を信頼しない

新聞各社がおこなった世論調査です

○共同通信・東京新聞（9月25日）

- ・安倍首相の衆院解散 反対64.3%、賛成23.7%
- ・安倍内閣支持45.0%、不支持41.3%
- ・安倍政権の下での憲法改正 反対51%、賛成33.9%

○朝日新聞（9月28日）

- ・内閣支持36%（前月比-2%）、不支持39%（+1%）
- ・憲法9条を改正し、自衛隊の存在を憲法に明記すること
必要がある39%、必要がない45%

○毎日新聞（9月28日）

- ・内閣支持36%、不支持42%

○読売新聞（9月30日）

- ・内閣支持43%（-7%） 不支持46%（+7）
- ・憲法9条に自衛隊を明記する 賛成47%、反対41%、答えない12%